

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-267628

(43)Date of publication of application : 01.11.1990

(51)Int.Cl.

G06F 9/06

G06F 1/00

G06F 12/14

(21)Application number : 01-088602

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 07.04.1989

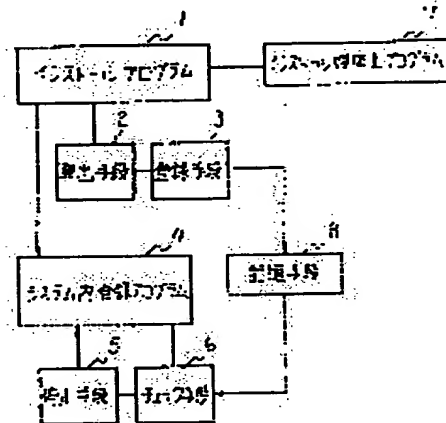
(72)Inventor : SHIMOHATA AKIHIKO

(54) CHECK SYSTEM FOR PROGRAM USING PERIOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To invalidate a program whose available period already expired by checking automatically the expiring date of the program based on the register information on the expiring date and erasing the program if its available period already expired.

CONSTITUTION: When an intra-system registered program 4 is started, the program 4 calls out a check means 6. The means 6 checks whether the expiring date of the program 4 already passed or not based on the register information on the expiring date stored in a storage means 8. If the expiring date does not pass yet, the run of the program 4 is granted. Meanwhile a stop means 5 is called out if the expiring date already passes. Thus the means 5 destroys the program 4 to prevent the run of the program 4 hereafter. As a result, a program whose available period already expired is not available thereafter.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報(A) 平2-267628

⑫ Int. Cl.⁴

G 06 F 9/06
1/00
12/14

識別記号

4 5 0 L
3 7 0 E
3 2 0 F

庁内整理番号

7361-5B
7459-5B
7737-5B

⑬ 公開 平成2年(1990)11月1日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 プログラムの使用期間チェック方式

⑮ 特 願 平1-88602

⑯ 出 願 平1(1989)4月7日

⑰ 発 明 者 下 畑 明 彦 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑱ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号
⑲ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発明の名称

プログラムの使用期間チェック方式

特許請求の範囲

- (A) 情報処理システムでプログラムを使用システムにインストールするときに、インストール日付を元に前記プログラムの使用を停止する日付を算出する算出手段、
- (B) 算出された使用停止日付をシステム内に登録する登録手段、
- (C) 前記プログラムが起動されたとき、前記プログラムが起動された日付が前記プログラムの使用停止日付に達しているか否かをチェックするチェック手段、
- (D) 前記プログラムが起動された日付が前記プログラムの使用停止日付に達していたとき、プログラムの使用ができないようにする停止手段、

を備えたことを特徴とするプログラムの使用期間チェック方式。

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はプログラムの使用期間チェック方式に関し、特に情報処理システムにおけるプログラムのインストール日付を元に使用停止日付を決定し、以後、使用停止日付に達するまでプログラムの使用を許可するプログラムの使用期間チェック方式に関する。

〔従来の技術〕

従来、プログラムを試験使用等であらかじめ使用期間を決めて使用者に提供する場合、使用期間完了時には、使用者又は提供者がそのプログラムを使用システムから消去するなどにより、使用期間完了後はそのプログラムを使用できないようにする必要があった。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来のプログラムの使用期間チェック

方式は、使用期間完了時にプログラム提供者がユーザに提供したプログラムを消去するか、又は、ユーザの申告を信頼するしか方法がないという問題点があった。

本発明の目的は、使用期間完了時に自動的にプログラムを使用できないようにすることができるプログラムの使用期間チェック方式を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明のプログラムの使用期間チェック方式は、

- (A) 情報処理システムでプログラムを使用システムにインストールするときに、インストール日付を元に前記プログラムの使用を停止する日付を算出する算出手段、
- (B) 算出された使用停止日付をシステム内に登録する登録手段、
- (C) 前記プログラムが起動されたとき、前記プログラムが起動された日付が前記プログラムの使用停止日付に達しているか否かをチェックする

プログラムの使用停止日付がシステム内の使用停止日付登録情報として格納される記憶手段8から構成されている。

次に、動作を説明する。

インストールプログラム1が起動されると、インストール媒体上プログラム7を読み込み、システム内登録プログラム4として使用システムに登録した後、算出手段2を呼び出す。呼び出された算出手段2は、そのときの日付を元にあらかじめ定められた使用期間を加算し使用停止日付を算出して登録手段3を呼び出す。呼び出された登録手段3は、使用停止日付をシステム内の使用停止日付登録情報として記憶手段8に格納し、インストールプログラム1の処理が完了する。

その後、システム内登録プログラム4は起動されると、チェック手段6を呼び出す。呼び出されたチェック手段6はそのときの日付が記憶手段8に格納されている使用停止日付登録情報の使用停止日付を過ぎているか否かをチェックし、過ぎていなければシステム内登録プログラム4に走行を

るチェック手段、

- (D) 前記プログラムが起動された日付が前記プログラムの使用停止日付に達していたとき、プログラムの使用ができないようにする停止手段、

を備えて構成されている。

〔実施例〕

次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。

第1図に示すプログラムの使用期間チェック方式は、プログラムを使用システムにインストールするときに、インストール日付を元に使用を停止する日付を算出する算出手段2、算出された使用停止日付をシステム内に登録する登録手段3、プログラムが起動されたときに使用停止日付に達していたか否かをチェックするチェック手段6、プログラムが使用停止日付に達していたとき、プログラムの使用ができないようにする停止手段5、

許可する。又、過ぎていれば、停止手段5を呼び出す。呼び出された停止手段5はシステム内登録プログラム4が以後走行できないようにするために、システム内登録プログラム4を破壊する。

このように、自動的に使用停止日付登録情報にもとづきプログラムの使用停止日付をチェックし、使用期間が完了したプログラムを消去することにより、使用期間が完了したプログラムを以後使用できないようにすることができる。

なお、本発明に用いる情報処理システムとしては、中央処理装置、主記憶装置、データ入出力装置、及び補助記憶装置から構成された情報処理システムを用いることができる。

〔発明の効果〕

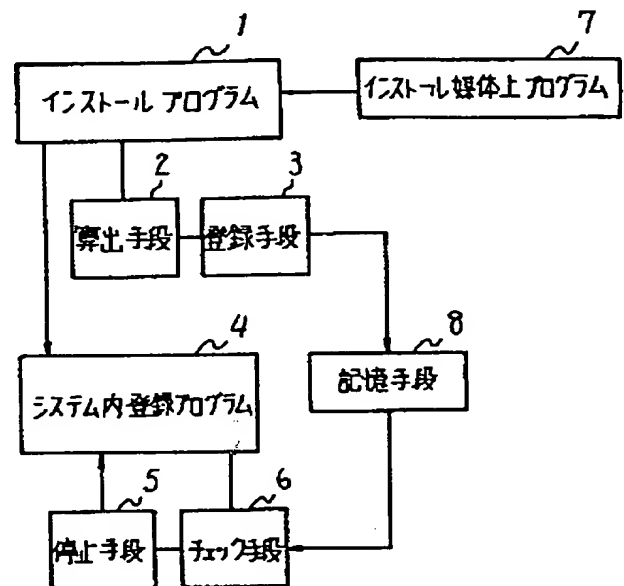
以上説明したように、本発明は、自動的に使用停止日付登録情報にもとづきプログラムの使用停止日付をチェックし、使用期間が完了したプログラムを消去することにより、使用期間が完了したプログラムを以後使用できないようにすることができるという効果を有する。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。

1…インストールプログラム、2…算出手段、3…登録手段、4…システム内登録プログラム、5…停止手段、6…チェック手段、7…インストール媒体上プログラム、8…記憶手段。

代理人 弁理士 内 原 晋



第 1 図